

「東日本大震災被災地復興支援」 第 63 回全日本大学バスケットボール選手権大会 大会概要

- 名 称** 「東日本大震災被災地復興支援」
第 63 回全日本大学バスケットボール選手権大会
- 主 催** 財団法人日本バスケットボール協会
全日本大学バスケットボール連盟
- 後 援** 文部科学省、三菱電機株式会社、朝日新聞社
- 協 賛** 株式会社モルテン
- 主 管** 関東大学バスケットボール連盟
関東大学女子バスケットボール連盟
- 期 日** 平成 23 年 11 月 21 日 (月) ～ 11 月 27 日 (日)
- 会 場** 国立代々木競技場第二体育館
墨田区総合体育館 { 11 月 21 日 (月) ～ 24 日 (木) }
- 参加資格** ①本大会参加大学は、所在地の各都道府県協会を通じて財団法人日本バスケットボール協会に加盟料を添えて加盟登録し、併せてその所属選手が登録料を添えて個人登録を済ませなければならない。
②本大会参加大学は、全日本大学バスケットボール連盟に登録料を添えて加盟登録したものの中から、各地区学生連盟より推薦された大学とする。
③本大会参加大学は、チームスタッフ内に財団法人日本バスケットボール協会公認コーチの資格を有する者を、1 名以上登録しなければならない。
- 参加チーム** 男子 32 大学 女子 32 大学
①前年度 1 位から 4 位までの地区学生連盟より 1 大学ずつの 4 大学を推薦
男子 (関東学連より 4 大学)
女子 (関東女子学連より 3 大学・東海学連より 1 大学)
②開催地区の学生連盟より 1 大学を推薦
男子 (関東学連より 1 大学)
女子 (関東女子学連より 1 大学)
③残り男子 27 大学、女子 27 大学の内訳は次の通り
男子 北海道:2 東北:2 北信越:2 関東:8 東海:3 関西:4 中国:2 四国:1 九州:3
女子 北海道:2 東北:2 北信越:2 関東:8 東海:3 関西:4 中国:2 四国:1 九州:3
- 競技方法** ①トーナメント方式とする。3 位決定戦を行う。
試合球については、本連盟指定球を使用。(男子は 12 面体 7 号球、女子は 12 面体 6 号球)
②審判は 1・2 回戦までの試合は「ツー・パーソン・システム」で行い、準々決勝以後の試合は「スリー・パーソン・システム」で行う。